

町報



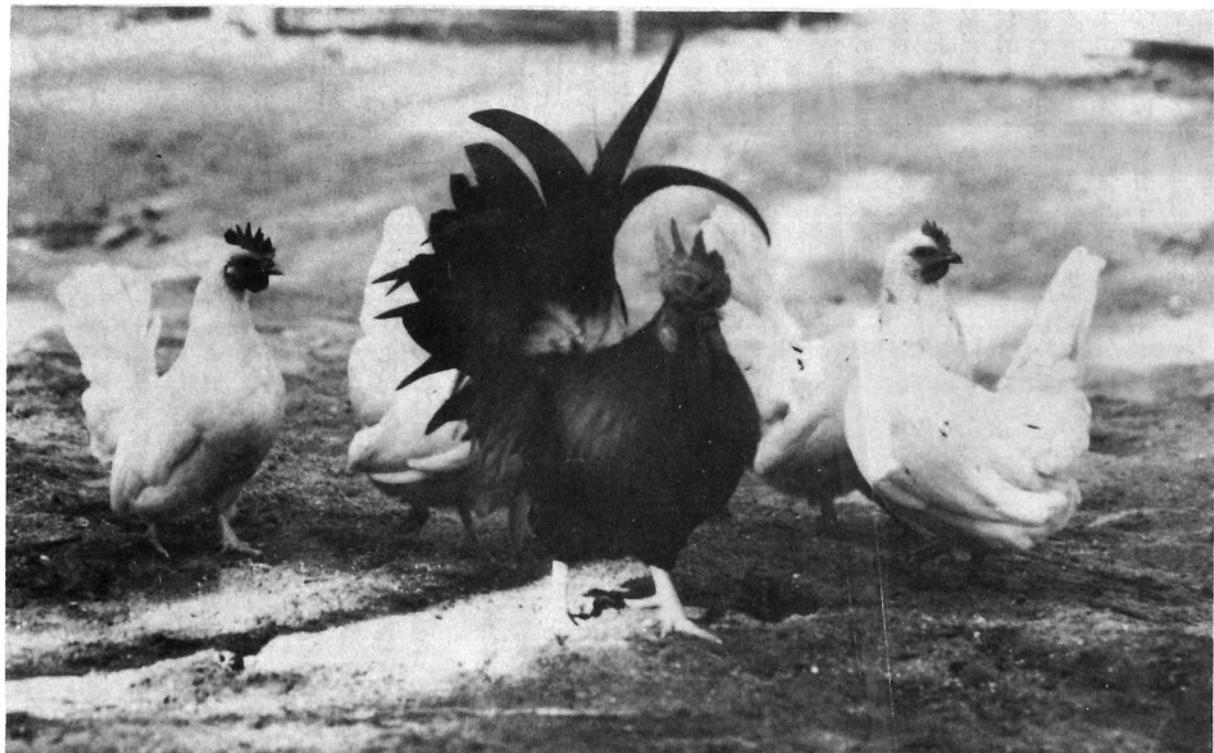
かどがね

編集・発行 門川町役場

印刷 工藤印刷

No.226
56/1

あけましておめでとうございます



今年はトリ年

とり

(トリ年は12支の10番目の「酉」にニワトリをあてはめたものです)

今月の主な行事

- 1日 元旦
4日 消防出初式(8:00~庵川漁港広場)
5日 御用始
6日 習字教室(19:00~中央公民館)
7日 中山神社大祭
婦人スポーツ教室(9:30~中央公民館)
8日 小中学校始業式
9日 三ヶ月児検診(9:00~11:00)役場当直室
S 55年10月出生の乳児
13日 習字教室(19:00~中央公民館)
14日 婦人スポーツ教室(9:30~中央公民館)
15日 成人の日 成人式(9:00~中央公民館)
18日 町婦連協大会(9:00~中央公民館)
20日 新入学児二種混合(13:00~14:00中央公民館) 21日まで
高令者学級(9:00~中央公民館)
習字教室(19:00~中央公民館)
21日 婦人スポーツ教室(9:30~中央公民館)

- 22日 成人病学級(9:30~中央公民館)
中央婦入學級(19:30~中央公民館)
23日 1才6ヶ月児検診(13:00~14:00役場三階会議室)
S 54年7.8月出生の者
25日 門川町家庭教育学級生大会(9:00~中央公民館)
27日 習字教室(19:00~中央公民館)
28日 三種混合第二期(13:00~14:00中央公民館)
54年度に2回以上接種済の者 30日迄
婦人スポーツ教室(9:30~中央公民館)
29日 成人病学級(9:00~14:00中央公民館)

12月1日現在人口 (概数)

世帯数	男	女	計
5,144 (5,143)	8,901 (8,894)	9,644 (9,643)	18,545 (18,537)

皆様に謹んで初春のお喜びを申し上げますと共に平素から議会に對する深いご理解とご支援に対し厚くお礼申し上げます。

昨年は激動の八十年代に入りましたが、国外ではイラン、イラクの戦争など石油産油国間の亀裂や、ボーランドに対するソ連の圧力、アメリカ大統領選でのカーター政権の敗退など世界情勢も大きく揺れ動きました。

一方国内では僅か七ヶ月で衆議員の再選挙を迎え、しかも衆参両院のダブル選挙という異例の選挙が行なわれました。この選挙は連合政権か、自民単独政権かという日本の今後の政治を大きく左右する選挙でしたが結果は自民党が引き続き政権を担当することになりました。

しかし最近の政府の動きを見ると今までどうつて變つた地方公共団体の財政危機がくることが予想されるようです。このことは、従来の借金財政から脱皮するため国民に耐乏を強く求めてきているもので特に門川町のような自主財源が乏しく依存財源に大部分を頼つてゐる地方自治体にとっては大変な痛手であり、今後財源の有効利用が大いに論議されることになるでしよう。

今まで取得した権利の縮少や、予算の削減については相当の抵抗が予想されます。議会はこの多様化し膨張した住民福祉をどう守つていくか将来の門川町のあるべき姿を執行部に迫りながら限られた財源の有効利用について住民の立場から追求していかなければなりません。

このような目的もふまえ、五十

住民の方々の意見を町政に反映させるとともに、地方公共団体の諸施策についての是非を議決していくなければなりません。更に執行機関と議会はそれぞれの権能を駆使し、協調しながら、住民の信託にこだえることは勿論ですが、新しい地方自治の在り方財源の投資効果、事務の合理化や能率化、地場産業の育成、商業の発展など住みよい門川町の建設



山本惣太郎



新年のごあいさつ

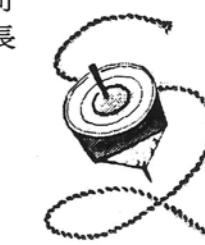
明けましておめでとうござります。
す。輝かしい新春を迎え皆様に心
からお慶び申し上げますと共に平
素から町政に対するご理解とご支
援に対し深く感謝申し上げます。
昭和もすでに五十六年になります
た。人生でいえば相当に経験も積
み定期を迎える年令ともいえま
すが、なんと申しましても一九八
〇年代は予測のつかない激動の時
代といわれております。この一年
間だけでも世界情勢は大変な動き
でありまして、まさにその言葉が
あてはまるようであります。世界
のみずみのことが、その日のうち
にテレビで見られる情報化時代
でありますから世界情勢の変化は
すぐさま国内情勢の変化をもたら
すことになります。

く一九七〇年後半にはいり、エネルギー資源に全く恵まれないわが国の経済は、国際緊張と資源問題の影響を受けて経済不況に悩まされましたが、これが原因で國債地方債の増發により、いわゆる財政主導型の不況対策をとつてまいりました。このようなことが要因で今や国、地方とともに厳しい財源不足を感じております。

いよいよ一九八〇年は「激動の時代」の幕開きとなり、更に「地方の時代、文化の時代」が叫ばれるようになりました。これからは全國的に画一化された行政、中央集権的な行政ではなく、地方の個性を認めめた行政体制に改めようというものであります。「地方の時代」とは「地方分権の時代」であり地方定住の条件を整備して明るい住みよい町づくりに邁進せねばなりません。それには長期の見通しに



金丸次藏



「井の田」もふまえ、五十

よし田川の文記



議員研修会

つき、耕作の業務を営む者で、同居の親族又はその配偶者も含み、耕作従業日数が、六十日以上となつてゐる者。

年齢については、選挙人名簿確定の期日（三月三十一日）で、二十年以上の者となつています。

現在、左記の日程により、各農林委員長さんを通じて名簿作成をお願いしている所であります。七月に選挙が予定されていますので該当される方は、もれなく申請して下さい。

記

一、申請基準日
昭和五十六年一月一日

一、登載申請書提出期限日
昭和五十六年一月十日

一、提出先
門川町農業委員会

四年四月から「議会をよし」を行し皆さんに議会の活動状況を報告し、今日に及んでいますが、アンケート結果からも皆さんの「議会だより」による期待が非常に高く私達の議会活動や、行政当局の考え方など理解いただくうえで大変役立っていることがうかがえ喜びにたえません。

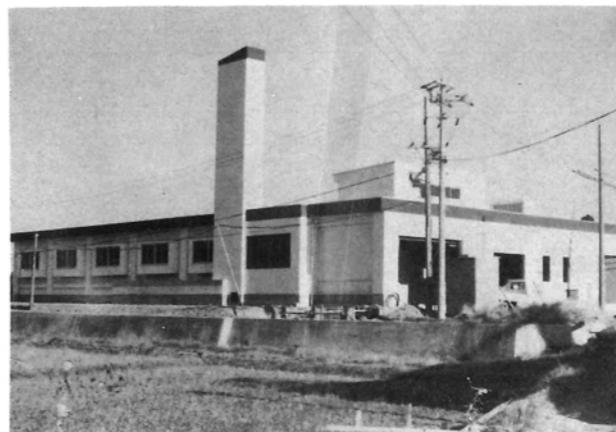
更に叱咤激励の言葉も数多くいただくようになりました。あらためて深く感謝申し上げる次第であります。

更に今回の不祥事については、
今後私達の監視の目を一層厳しく
し、今後かかることのおきないよ
う日常の活動の中で監視していき
たいと思いますと同時に私達もか
かることのおきないよう自己の教
訓としていきたいと思います。
どうか本年もより一層のご理解
とご協力を願い申し上げます。
最後に皆様のご多幸をお祈りし
ます。

農業委員会委員 選挙人名簿 登載申請中

登載申請中

完成間近の衛生センタ



消防出初式の御案内



昨年の初式で点検をうける団員

立った財政運営により地方債の絶り上げ償還あるいはそのための積立金をするなど、工夫を凝らしてできるだけ弾力性を回復するよな財政再建対策が必要であります昭和五十四年十二月に着工いたしました、し尿処理場は、お陰様で近く完成の予定であります、四十五年度開校を目標としている小学校建設、町民の憩の場としての海浜公園、運動広場の建設、更には都市計画事業の早期完成等残された課題の解決を急がねばなりません。

申訳なく心からお詫び申し上げます。
これから昭和五十六年度の予算額は、
成期にはいるのであります。是
少の経費で最大の効果を擧げる答
創意工夫によつて「住みよい町」
「豊かな町」「生きがいある町」
づくりのため、たゆまざる努力を
重ね皆様と共に理想の実現に邁進
する決意でありますので今後によ
きましても町政に対し一層のごは
力ををお願い申し上げ、あわせて皆
様のご多幸を心からお祈り申し上
げまして新年のご挨拶といたしま
す。

新春の初頭を飾る本町恒例の消防出初式を下記のとおり挙行いたしますので、町民の皆さんも本町消防団の全容を見に来てくださいととともに、地元消火の主催者様の御声援をお願いいたします。用います。

- 初の志氣高揚の御声援を
 1. 日 時 昭和56年1月4日
 午前8時 開式
 正午 閉式
 2. 場 所 庵川漁港埋立地

みんなが参加し みんなが平等に暮らせる よりよい社会づくりを



お母さんに見守られて歩行訓練

昭和56年
(1981年)

昭和56年(1981年)
国際障害者年



〈テーマ〉完全参加と平等
障害をもつ人の
社会への完全参加と平等

国際障害者年

わが国では、約三百五十万人以上の人々が心身に障害をもつていると推定されています。障害者とは、病気あるいは事故などのために身体的精神的な機能が損なわれ、自分自身では通常の個人生活や社会生活を完全に、または部分的に行えない人々です。わが国には、大きく分けて身体障害者約一百十万人、精神薄弱者約四十万人、精神障害者約百万人――の障害者がいると推計されています。

また、平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて脳卒中の後遺症などによる障害者が増えるとともに、交通事故や労働災害などによる障害者が年々増加する傾向にあります。

わたしたちのだれもが障害者になる可能性をもつてゐる――といつても言い過ぎではありません。障害者は、単に障害をもつた人だけではなく、わたしたち一人ひとりが自分自身の問題として理解し、幅広い社会的な連帯意識をもつて解決していくなければなりません。

昭和五十六年――今年は「国際障害者年」です。昭和五十一年の国連総会で決定された世界的規模の行動で、テーマは、障害をもつた人の社会への「完全参加と平等」です。

障害をもつた人にに対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるよりよい社会づくりをしようという年――「国際障害者年」に当たって、みんなで考えましょう。

国際障害者年のシンボルマーク
2人の人が連帯して手をとり合い、平等の立場から支えています。周囲の葉は、国連の紋章の一部です。

昭和五十六年度

私設・南町保育所開設される

1月26日→2月10日

昭和五十六年四月から保育所に入所希望の方は、左記の基準により申請書を提出されるようお知らせいたします。
尚、本年度から社会福祉法人南町保育所が開設されます。

一、保育所へ入所できる児童は、主に母親のいない家庭、又は母親が仕事を従事して児童の保育ができない等、次のいずれかの事情がある場合です。

但し、①～④に該当する場合でも、その家庭の母親以外の人が児童の保育ができる場合は、除かれます。

①家庭外労働 児童の母親が昼間家庭外で仕事をする場合に児童の保育ができないとき。

②家庭内労働 児童の母親が昼間家庭で児童とはなれ、その児童の保育ができないとき。

③母親のない家庭 母親の死亡、行方不明、抱棄等の理由により、母親がないと



元気よくあそぶ園児
四、申請書（申込）受付期間
昭和五十六年1月二十六日から
二月十日まで

五、定員及び通園区域
五十鈴保育所（一二〇名）
小松 小園 城屋敷 五十鈴
上の町 本町一部
平城保育所（九〇名）
東栄町 西栄町 竹名 本町一部
中央保育所（九〇名）
平城東 平城西 栄ヶ丘 中山
漁村全区域 本町一部

草川保育所（九〇名）
加草地区全域 麦川西 麦川東
牧山 谷の山 中村
勤務の都合上、南町保育所希望の方
南町保育所（六〇名）
勤務の都合上、南町保育所希望の方
尚詳細については各保育所又は役場住民課へお問い合わせ下さい。

※各保育所の申込人員と定員の関係で、希望保育所に入所できな場合もあります。
※記入要領は申請書用紙に記入されておりますのでよく読んでいただき、間違のないようお願いします。

風呂は次に入りましょう

二、保育所入所申込に必要な添付書類

- ①町民税課税額証明書
- ②固定資産税額証明書
- ③源泉徴収票
- ④母親の給与、賃金支払証明及び就労証明書

※職業のあるものは、勤務先を具体的に記入する。

とともに、母親の職業及び勤務先も必ず記入して下さい。

三、申請書提出先

①申請用紙は各保育所に準備し

てあります。
②申請書は、各通園区域の保育所へ提出して下さい。
但し、南町保育所については役場住民課の方で、受付します。

母子加算を受ける手続きは

生年金などから老齢年金や障害年金を受けているときも、支給が停止されます。

この新しい母子加算は、母子年金を受けている人が、他の制度から遺族年金などを受けていないことを申し出て、これが受理されると支給されます。

国民年金に加入して、決められた保険料を納めていれば、夫に先立たれたとき、十八才未満の子供のある妻に母子年金が支給されますが、昨年の改正で、これに新しく月一万五千円の母子加算額がつくようになりました。

しかし、国民年金以外の制度から、遺族の年金を受けている妻には支給されません。また、妻が厚くよう改善されました。

国民年金に加入して、決められた保険料を納めていれば、夫に先立たれたとき、十八才未満の子供のある妻に母子年金が支給されますが、昨年の改正で、これに新しく月一万五千円の母子加算額がつくようになりました。

祖母や姉が受けれる準母子年金の場合も、同じです。

くわしいことは、年金係におたづねください。



土橋・法泉寺住職・甲斐徳義殿
には、社会福祉事業に役立てて下さいと、一金貳万貳千參百參拾円
のご寄贈を戴きました。

ここに厚くお礼申し上げますと共に、その志を有効に活用させて
頂きます。

社会福祉法人
門川町社会福祉協議会

一金壱千貳百式拾四円
千草義男殿
一金百參拾參円 藤田計子殿
一金貳万七千円 法泉寺
五十鈴莊殿
特別養護老人ホーム
甲斐徳義殿

十二月十二日迄分
共同募金門川町分会

寄附お礼

歳末たすけあい
寄附者

香典返しお礼



盛大に開催された文化産業祭

死亡者氏名	年令	住所
元井 アキ		三ヶ瀬
江川 竹治		東栄町
小川 伊平		庵川東
本田 福松		小松
後藤富太郎		庵川東
岩切 イチ		上井野
林 良臣		西栄町
松本 ツヤ		三ヶ瀬
請関アゲノ		庵川東
宮田マツエ		上納屋三区
水永 智美		加草四区
曾根田ステ		庵川東
楠原ツキエ		小園
曾川 司		東栄町
47 85 88 44 66 71 92 61 83 73 81 88 78 79		庵川東
庵川東		西栄町
加草四区		上納屋三区
庵川東		平城西

右の方々には、不幸にして、ご逝去なされ、喪主の方より香典返しとして、金一封を社会福祉事業にご寄贈いただきました。ここに厚くお礼申し上げますと共に、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

尚使途につきましては、その主旨にそいまして、社会福祉事業に活用させて頂きたいと存じます。

一金參万円也	松本幸吉殿
一金五万円也	水永寅雄殿
一金五万円也	曾川ソヨノ殿
一金貳万円也	宮田堅一殿
一金貳万円也	請関泰啓殿
一金貳万円也	宮ノ下フミエ殿

締切日（十二月十二日迄分）
社会福祉法人
門川町社会福祉協議会